

蒸留再開から3年、待望のシングルモルトウイスキーが誕生 「THE REVIVAL 2011 シングルモルト駒ヶ岳」 リバイバル(復活)記念発売

本坊酒造株式会社(本社:鹿児島市、社長:本坊和人)は、このたび信州マルス蒸留所の蒸留再開から3年、リバイバル(復活)記念として、「THE REVIVAL 2011 シングルモルト駒ヶ岳」を、限定6,000本発売致します。

弊社は、1949年、鹿児島にてウイスキー製造免許を取得以降、1960年、国産ウイスキー創生の一翼を担った岩井喜一郎氏の設計・指導のもと、山梨工場(現、山梨マルスワイナリー)で、ウイスキー蒸留設備を竣工、モルトの蒸留と貯蔵を行い、「マルスウイスキー」のブランド名で、数々のウイスキーを生み出してきました。1985年には、「日本の風土を活かした本物のウイスキー造り」を目指し、更なる理想の地を求め、日本アルプス山系、駒ヶ岳の麓にある長野県上伊那郡宮田村に、信州マルス蒸留所を竣工(蒸留釜など設備を移設)、ウイスキー需要低迷期にモルト原酒の蒸留を休止していましたが、2011年に蒸留を再開し新たなモルト原酒を育てています。

「THE REVIVAL 2011 シングルモルト駒ヶ岳」は、恵まれた自然と綺麗な水、バーボンバレルで静かに熟成の時を重ねたモルト原酒から、霊峰「駒ヶ岳」の名を冠し、信州マルス蒸留所の“復活”を期して誕生した待望のシングルモルトウイスキーです。

2011年、19年ぶりに蒸留されたモルト原酒は、三度の四季を経て、若々しい淡い琥珀色を身にまとい、モルトの香りと爽快な果実香が、わずかに漂うピート香とバランス良く調和しており、バニラのような甘く華やかな香味が口の中に広がります。

2014年“復活”を期して、ジャパニーズウイスキー創生の一翼を担った岩井喜一郎から始まるマルスウイスキーの歴史に、造り手の技と情熱が、新たな時代を切り開きます。

※ウイスキーボトルについて

ボトル上部と下部にデザインされている2つの曲線は、上部は中央アルプスの稜線、下部は南アルプスの稜線が克明に描かれたものです。蒸留所を取り囲む荘厳な日本アルプス山系を表現しています。



銘柄	THE REVIVAL 2011 シングルモルト駒ヶ岳
酒別	ウイスキー
原材料	モルト
アルコール分	58%
容量	700ml(専用化粧箱入)
入数	1ケース6本入り
参考小売価格(税込)	10,800円
発売期日	8月6日(水)より出荷開始
備考	限定瓶詰本数6,000本

・飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがありますので、気をつけましょう。

【本件に関するお問い合わせ先】

本坊酒造株式会社 業務部 企画課 鹿児島市南栄3丁目27番地
(〒891-0122) TEL099-822-7003 FAX 099-210-1215